

シブリングサポーター養成講座

～きょうだい支援に踏み出そう～

障害のある人の兄弟姉妹(=きょうだい)の気持ちを聞いたことがありますか?どの社協も障害者福祉に取り組んでおられますし、また親支援に関わっている方も多いことでしょう。しかし、“きょうだい”はどうでしょう。

次の文章は、ある社協の広報紙から抜粋したものです。

「子どもの頃、弟の通院に、母は私も連れて行っていた。その時、弟の主治医や看護師は、『よく来たね!』と、先に私を抱き上げてくれた。それが嬉しく、私は弟の病院に行くのが好きだった。そのことがきっかけで、福祉・医療の分野に憧れを持った」

「子どもの頃、妹の療育に母は私も連れて行っていた。療育施設に着くと母と妹は別紙に行く。母と保育士たちと楽しそうにしている妹の姿が窓から見えた。私は一人ぼっちだった。たまに通りがかる職員は、私のことを『○○ちゃんのお姉ちゃん』と呼ぶ。私も一人の子どもだよ!私は付属品じゃないよ!そう思っていた」

2人のきょうだい児の体験です。このエピソードには医療関係者、福祉関係者が登場します。私たち社協職員は、この登場人物の誰になりたいでしょう。登場人物のありようによって、きょうだいのしんどさの度合いが変わるとすれば、きょうだい抱える問題の真の当事者はだれなのでしょう。少なくとも、私たち社協職員がきょうだいたちの悩みの種になってはいけません。シブリングサポーター養成講座を受講し、きょうだい支援に一步踏み出してみませんか?

◆と き 7月5日(火) 13:30~16:15

◆会 場 筑後市総合福祉センター 2階大会議室(筑後市野町680-1)

◆定 員 35名

◆講 師 清田 悠代さん(NPO法人しぶたね理事長/大阪府)

NPO法人しぶたねについて

「しぶたね」は病気の子どもの「きょうだい」のための団体です。不安や孤独感を抱えながら頑張っているきょうだい達が、安心して子ども時代を過ごせるように、きょうだい支援の種を蒔いています。病院で面会中の保護者を持つきょうだいとあそぶ活動、きょうだい主役のイベント「きょうだいさんの日」の開催、小冊子の配布、きょうだいの応援団を増やすためのワークショップを行っています。

★団体のHPのURL <https://sibtane.com/>

◆研修内容（予定）

①きょうだいの気持ちを知るための講義（75分）

内容 きょうだいの安心のために、想像力の引き出しを増やします。

②参加者同士グループワーク（45分）

内容 これから出会うきょうだいさんとの関わりをイメージします。

③参加者の情報交換（30分）

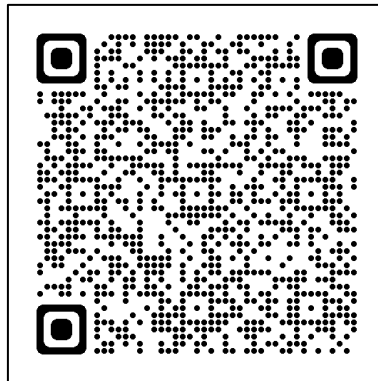
内容 サポーター自身もひとりぼっちじゃないように・・・

★修了者は、「修了証ピンバッジ」「この施設にはシブリングサポーターがいますステッカー」がもらえます。

◆申込み・問合せ

参加を希望される方は、6月30日（木）17時までに下記QRコードから Google フォームにてお申し込みください。

なお、コロナウイルス感染拡大防止の観点から定員を35名とさせていただきます。一つの社協から複数名の参加者がいる場合、定員をオーバーした際には調整をお願いさせていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。



↑↑↑

申込はここから

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScJlhOhxyzNJ5i9OeZY-8Wa1cprR36gcn8x39ZlkBum6_DqUw/viewform

（問合せ） 筑後市社会福祉協議会 卜部

〒833-0032 福岡県筑後市野町680-1

TEL 0942-52-3969 **FAX** 0942-53-6677 **MAIL** urabe@chikugo-shakyo.or.jp